

1. 活動のテーマ

テーマ：水

身近な水をテーマに選びました。

設定理由：

園の特色としては、日頃から主体的に考えて遊ぶ園に変わりつつあります。砂場にガチャポンプを設置し、その水を容器に入れて葉っぱやお花を浮かべたりする姿や雨が降った後の雨水を使って遊ぶ姿がある。水を使うと色々な使い方をする為子どもの興味関心がどのように遊びが広がるかに着目し水をテーマにしてみました。

2. 活動スケジュール

- 毎日、子どもが興味をもった時または、活動に組み込む
- 担任間で準備

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 鍋や容器をたくさん用意
- 葉っぱや花、木の実などを用意し、子どもたちの遊びがどのように探究するかの様子を見たかったので、あえてガチャポンプの近くに設置した。



4. 探究活動の実践

活動内容:

- ガチャポンプで水を汲み、容器に入れて遊ぶ
- 水に植物を浮かべたり、砂で沈む様子を観察
- 水の歪みを発見して楽しむ

子どもの姿・声、保育者との関わり:

- ポンプの使い方を理解し、協力しながら活動(例:「かわるよ!」と声かけ)
- 発見したことを保育者に伝える(例:「せんせい、すごいよ、みてみて!」)
- 年長児が土と砂の違いを考え、泥団子作りを試す
- 小さい子どもたちが年長児の遊びをまねて発展させる姿も見られた



5. 保育者の気づき

- 初めての水遊びではダイナミックに、慣れてくると濡れずに要領よく遊ぶ工夫が生まれる
- 砂と土に水を含ませどっちが、泥団子に適しているか? 年長はよく考えて行っていた。
- 水だけでも色々な気づきを子どもたちからしてくれ、遊びの幅が広がることで子どもたちの探究心に保育者も一緒にいて驚いています。
- 幼児がやっている姿をよく見ている小さい子たちは、居なくなったすきに同じ遊びをまねる姿があった。
- そのようにていろいろな遊びが真似されアレンジされ色々な遊びに発展していくことが分かった。